

入居者大募集中です 住吉第一団地



特別市営住宅「住吉第一団地」の入居者を募集。中心市街地や前橋プラザ元気21へのアクセスが良く、買い物や子育てに大変便利です。この機会に、ぜひ、入居をご検討ください。

団地の概要

所在地＝住吉町一丁目
構造など＝鉄骨鉄筋コンクリート造高層10階建て
家賃・募集戸数＝(3DK) 5万600円、先着14戸(4DK) 5万9,300円、先着2戸
設備＝エレベーター、浴槽、給湯器、エアコン2台、洗面化粧台、温水洗浄便座、カラーモニター付インターホン
駐車場＝近隣に民間駐車場があります

入居資格

不動産を所有せず基準月収額が15万8,000円以上48万7,000円以下で2人以上の世帯など。詳しくは問い合わせてください。

入居予定日＝4月1日(金)から

申し込み＝2月21日(月)から市役所建築住宅課(☎898-6833)へ直接

新婚・子育て世帯に助成金

今回、住吉第一団地に入居する子育て世帯や新婚世帯には助成制度があります。詳しくは建築住宅課に問い合わせてください。

家賃助成

対象＝小学校入学前の子を養育している世帯
助成額＝月額1万円

家具助成

対象＝助成申請日前3カ月以内に結婚した世帯、先着5世帯
助成額＝上限10万円

雑居ビルなどで防災を呼び掛け

3月1日(火)から7日(月)まで、全国一斉の建築物防災週間です。これに合わせて、1日には本市や消防局、警察署、保健所で組織する前橋建築防災安全対策連絡協議会が、中心市街地やJR新前橋駅周辺の雑居ビルなどを対象に防災啓発活動を実施。2日(水)から4日(金)には、多くの人が利用する建築物などの立ち入り検査を行います。

問い合わせは **建築指導課** ☎898-6753

- 枯れ草などのある、火災が起きやすい場所ではたき火をしない。
- 火気を使用する場合は、周囲の可燃物の状況に十分注意し、消火用の水などを必ず用意する。
- 強風注意報や乾燥注意報などが発表されている場合は、火気の使用は控える。
- 火は完全に消す。
- 喫煙は指定された場所で行うとともに、吸い殻は必ず消し、投げ捨てない。

- 多くの人が出入りする建物での火災を想定した大規模な訓練を実施します。
- 日時**＝2月27日(日)午前10時～11時
- 会場**＝消防局
- 内容**＝ミニ消防自動車乗車、子ども用制服・防火衣で記念撮影、消防車両展示など
- 消防ふれあい広場**
- 日時**＝3月6日(日)午前9時～11時30分
- 会場**＝消防局
- 内容**＝ミニ消防自動車乗車、子ども用制服・防火衣で記念撮影、消防車両展示など
- 火災防衛演習**
- 多くの人が出入りする建物での火災を想定した大規模な訓練を実施します。
- 日時**＝2月27日(日)午前10時～11時

- ごみは指定された場所に捨てるか持ち帰る。
- イベントで学ぶ火災予防の知識**
- 日時**＝3月1日(火)～7日(月)、午前10時～午後8時
- 会場**＝ショッピングセンター・アイム(大胡町)
- 市消防音楽隊コンサート**
- 市消防音楽隊の迫力のサウンドを聞きませんか。ミュージック蔵クラブによるゲスト演奏もあります。
- 日時**＝3月5日(土)午後1時30分～3時30分
- 会場**＝前橋プラザ元気21
- 申し込み**＝各消防署・分署、市役所1階ロビー、中央公民館で整理券を配布

大切な命と財産 火災から守るために

問い合わせは **消防局予防課** ☎220-4507
 市消防音楽隊コンサートについては **消防局総務課** ☎220-4503へ



● ガスこんろなどから離れるときは必ず火を消す。



● お年寄りや体の不自由な人を守るため、隣近所の協力体制をつくる。

住宅火災を防ぎ 命を守る7つのポイント

● 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。

● 寝具や衣類、カーテンなどからの火災を防ぐため、防災製品を使用する。

● 火災を小さいうちに消すため、住宅用消火器などを設置する。

● 寝たばこは絶対にしない。

● ストープは燃えやすい物から離れた位置で使用する。

「消したかな」あなたを守る「合言葉」を防火標語に、3月1日(火)から7日(月)まで春の火災予防運動を実施。期間中は火災予防一斉広報、消防団方面別訓練、独り暮らし高齢者家庭の防火訪問、駅舎の消防検査などで、火災予防を強く呼びかけます。この機会に、皆さんも改めて身の周りのチェックをしましょう。

設置してありますか 住宅用火災警報器

すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。設置するときは、国の基準に適合した「NSマーク」の付いた物を選びましょう。防災用品を取り扱う販売店やホームセンターなどで購入できます。

なお、最近、消火器や住宅用火災警報器の悪質な訪問販売などによる被害が発生しています。消防署員や消防団員が消火器や住宅用火災警報器などを販売することはありませんので、注意してください。被害に遭った場合は、消費生活センターや、最寄りの消防署へ連絡してください。

レジャーなどでは 山火事に注意して

山火事予防のポイント

山火事は、例年春先に多く発生しています。これは、下草が枯れている上、火災の発生しやすい気象条件や、レジャー